

産業建設常任委員会派遣調査報告

(大湯環状列石JOMON体感促進事業)



5月23日、「大湯環状列石JOMON体感促進事業」の柱となる「食」「暮らし」「まつり」の3つのプログラムのうち食に関するプログラムについて調査を行いました。



縄文食体験については、当時食されていたと考えられる山菜やサケなどの食材を復元した土器で煮炊きし、実際に味わうことで、縄文人も感じたであろう食の魅力をリアルに伝える内容で、大湯ストーンサークル館の見学や土器づくり体験などと併せ、3月から体験プログラムとして販売を行っております。

また、7月から北東北三県大型観光キャンペーン「ドキドキ、キタキタ北東北」のコンテンツの一つとしても販売されることで、世界文化遺産へ登録された大湯環状列石のさらなる観光振興にもつながるものと期待されます。

現在造成中の「暮らし」と「まつり」プログラムの完成が待たれますが、縄文食については、観光客のみならず、多くの市民にも体験してもらい、縄文時代を体感してほしいと感じました。



議員永年勤続表彰

全国市議会議長会第98回定期総会において、黒澤一夫議員が25年以上にわたり市政の振興に尽くされた功績により特別表彰され、定例会最終日の6月23日に表彰状の伝達式が行われました。



全員協議会

6月23日、市発注工事における官製談合再発防止対策について説明を受けるため、全員協議会を開催しました。



関市長より第三者委員会から検討結果の報告書の提出があったことの報告を受ける市議会

前市長ほか4人が官製談合防止法違反及び公契約関係競争入札妨害で逮捕・起訴されたことを受け、市の入札・契約制度の検証と課題等の抽出、入札談合等関与行為の再発防止策の検討を目的に設置された、鹿角市官製談合再発防止対策検討委員会からの検討結果の報告書の内容などについて執行部から説明を受けました。

議員からは官製談合再発防止に向けた今後の対応策や、判決確定後に見込まれる対応などについて質問や意見が出されました。また、条例の見直しや取り組みなどについて、段階的に報告を行うよう求めています。

編集後記

ぎかいだよりの編さん時にいつも思うのは、「どれだけの方に見ていただけているのだろうか。」ということだ。

議会の広報誌ということで、内容がどうしても堅く、難しい言葉が並び、なかなか興味が湧かない内容であることに加え、最近では広報誌を読まない方も増えてきたと聞きます。

また、若い世代では新しい通信技術の普及により、自宅に固定電話を設置しない家庭も増えてきていると聞きます。

そんな流れの中、私たちは市議会議員が真摯に議会の内容を吟味し、周知に努めておりますので、ぜひ、ぎかいだよりを読んでいただきたいと思ひます。

(児玉悦朗)

議会広報委員会

委員長 金澤 大輔
副委員長 成田 哲男
委員 児玉 悦朗
湯瀬 誠喜
湯瀬 弘充